



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2006. 7.26

No. 29 - 50

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office@alpajapan.org

東京工業大学

工学部にて講演

2006年7月5日、東京工業大学工学部の総合科目「現代科学 技術と安全」の授業の一環として、日乗連 AA 委員会、館野委員長による講演が1時間半に渡り行なわれました。これは同大学において現代社会における先端技術の安全問題について外部講師を招いて毎年行なわれているもので、航空以外からは、原子力発電、遺伝子工学、化学プラント、薬品製造、などの各分野における安全の専門家により講演が行なわれています。これらは正式な授業として扱われており履修した学生には単位が与えられます。

航空のテーマは「航空事故調査の立場から見る社会と安全」で講演内容は以下の通りです。

- 1) 代表的な事故事例
- 2) 各国の事故調査制度
- 3) パイロット組合による事故調査
- 4) システム性事故とヒューマンファクター
- 6) 安全報告制度
- 5) 航空事故と犯罪捜査

今年は例年の講義内容に加えて、日乗連で取り組みを強化している「システム性事故」に関する講義を新設し、その理解を広めました。受講した学生総数は136名で、全ての学生から感想が寄せられています。その中では、日本の事故調査制度の問題や、日本における犯罪捜査に対する批判の声も聞かれ、今年から新たに加えた「システム性事故」に関して「事故の最後の引き金を引いた人を処罰しても何の問題解決にならない」という言葉は飛行機事故に限らずあらゆる場面に当てはまる重い言葉だった」という感想も述べられています。

日乗連では今後も対外的な活動を積極的に行い、安全問題について広く社会に理解を求める活動を進めて行きます。

